



卵の会



デイナイトケアの壁画「夢どう宝」に使用 古謝哲也作

目次

ごあいさつ	P2
療養者の家族向けの集まりについて	P3
「夢どう宝」	P4
障がい者が地域で利用できる施設の紹介	P5
あらかき通信	P5
栄養課からのレシピ紹介	P7

■ 2 ■ ごあいさつ



医療法人 卯の会 新垣病院
地域医療部 部長 宮城 聡

この10年、精神科医療、障がい者福祉はずいぶん変化してきました。国のグランドデザインの推進、障害者自立支援法などの大きな制度改革を経て、今年度からは障がい者のケアマネージメント(相談支援事業)などが盛り込まれた障害者総合支援法もスタートしました。新垣病院はこうした社会のニーズや変化を見据えながら、急性期病棟の開設、スーパー救急体制の稼働、電子カルテの導入、法人施設(事業所)の新体系への移行、相談支援事業所の開設など、新しい取組みを続けてきました。

こうした取組みの結果、かつて退院は難しいのではないかと思われた入院患者さんが地域でしっかり生活できるようになっていたり、社会参加への意欲が乏しいように見えていた方が就労訓練を経て一般就労し自立生活を営んでいたり、療養者の社会復帰、社会参加やリハビリが大きく前進してきました。これまでの新垣病院スタッフの理念と目指してきた取組みは、大きく評価できると思います。

そして同時にこれからまだまだ乗り越えるべき課題がたくさんあります。救急・急性期治療の充実、在宅支援の拡充、地域の障がい福祉サービスとの連動、長期入院者の地域移行、認知症・高齢障がい者への対応、うつ病や若年層・思春期対応など、これからさらに力を入れて取組んで行く必要があります。

新垣病院は、今後も様々な課題に対応し、療養者がいきいきと地域生活をおくるためのトータルな医療福祉サービスを提供し続けられるよう、変化、成長していきたいと思います。そして、一人一人のスタッフが自分の役割を大切に、専門性を発揮しつつチームとして機能することを大切にしながら、地域の精神医療、福祉の推進に取り組んでまいりたいと考えています。

地域の皆様、関係者の皆様のご理解とご協力をよろしく申し上げます。

平成25年度も療養者の家族向けの集まりを計画しています。

認知症の方を介護されている**家族向け**の集まり

『家族のつどい』

この集まりは、認知症の患者さんを抱えた家族が一同に集まり、お互いに交流したり、情報交換をしたり、労をねぎらいあつたりする場となっております。毎回10数名のご家族が参加されています。近年、認知症で外来通院されている方も増えており、外来に通われている認知症通院者のご家族に参加して頂けるよう外来や訪問看護でも声を掛けさせて頂いています。興味・関心のあるご家族の方の参加をお待ち申し上げます。お誘い合わせの上ご参加ください。

第1回 「認知症について」 講師： 堤 勇人 先生
平成25年 6月15日(土) 午後2:00～4:00(受付開始 午後1:45～)
新垣病院 4F活動室

第2回 「お薬について」薬剤師講話 平成25年 8月17日(土)
第3回 「療養者と家族の交流会」リフレッシュ企画 平成25年 10月19日(土)
第4回 「介護保険サービスについて」ケアマネージャー 平成25年 12月21日(土)
第5回 介護保険施設見学 平成26年 2月15日(土)

統合失調症の方を支援している**家族向け**の集まり

『家族心理教育セミナー 治療編』

救急病棟(5病棟)入院患者さんのご家族向けの家族の集まりです。この集まりは統合失調症の病気と治療について理解を深める集まりとなっております。今年度も3回ほど開催予定しており、6月中旬か7月上旬に今年度1回目のセミナーを予定しています。詳細は当院救急病棟(5病棟)にお問い合わせください。

『家族心理教育セミナー 回復編』

統合失調症の治療がある程度すすむと次はリハビリに取り組んでいきます。住み慣れた場所に退院し、いい状態を維持し自分らしい生活をしていくにはどうしたらいいかヒントを得られる機会になればと考えています。今年度は4回開催予定しています。その内の数回は利用者も招き、利用者の体験から学ばせてもらえる機会にしていきたいと考えています。場所と時間は地域医療部までお問い合わせください。

第1回 「統合失調症の治療について」 平成25年 7月27日(土) 午後2:00～4:00
第2回 「再燃・再発を予防するには」 平成25年 9月28日(土) 午後2:00～4:00
第3回 「どのように関わればいいのか？」 平成25年 11月16日(土) 午後2:00～4:00
第4回 「居場所について」 平成26年 1月25日(土) 午後2:00～4:00

『利用者と学ぶ会』

この集まりは家族と利用者が一同に会し、利用者や家族が交流しお互いに学び合う会となっております。平成25年8月と平成26年3月に予定しています。詳細は精神科デイトケアにお問い合わせください。

「病気や障がいがありながらも利用者」が「それを支え見守るご家族」がともによりよい生活を送るための知識や知恵やサポートが得られる機会になればと考えています。みなさまのご参加をお待ちしています。

「夢どう宝」

新垣病院 デイナイトケアセンター 知花 勉・目取眞恵子

最近、みなさん自分の夢を話したことありますか？

昨年初夏、ある話が持ちあがりました。沖縄県の子供虐待防止センターの自立について「利用者主体で映画を作ってみませんか」との話でした。

当院デイナイトケアに通っているメンバーに相談すると、「皆が生き生きしているところを映し、自主製作の映画を撮ろう！」ということになりました。話し合いを重ねながら企画・制作・監督・出演全て利用者が担い撮影しました。「生き生きしているところ = 夢をもつこと」ということへ発展し、あるメンバーの数十年持ち続けていた「お洒落なレストランのピアニストになりたい」という夢を映像で実現することになりました。この映画「虹のピアニスト」を当院メンタルヘルスフェアで上映しました。

次に小さい頃から抱いていた「ある芸能人に会いたい」という夢を映像で実現。他の利用者が夢を語る姿も取り込み、オムニバス調に作成しました。出来た映画が「夢どう宝」。この映画を東京の「ラブストーリー映画祭」に出展しました。

映像を監督・編集された古謝哲也さんは「今回、技術を習得し作品を作るのが大変だった。機材の不具合がおきてきちんとDVDを作るのに苦労した」「今後も自分の体験をもとに障がい者の恋愛映画をとっていきたい。脚本、演出、映像の勉強を続けていきたい」と熱く語っています。また、「この活動を通して広がった人との繋がりを大事にしていきたい」と述べています。出演者の一人は「緊張したけど撮り終えてほっとした。この映画を観てみんなが元気になるきっかけになってうれしい」と。今後の同好会の活躍が楽しみです。



先日、入院中の療養者の集まりで今のお話をした時、病棟の療養者さんからも沢山「夢」が語られました。ひとつでもその夢を形にしていくお手伝いのできたらと考えています。利用者の「夢を紡ぐ活動」を通して、私たち職員や周囲のみんなが夢を見させてもらえるいい機会になっているような気がします。同時に「いくつになっても、どんな状況におかれたとしても夢を持ちそれを語る」素敵なことだと改めて感じました。

障がい者が地域で利用できる施設の紹介

(株)NSP

〒904-2172 沖縄県沖縄市泡瀬1丁目20番30号

TEL.098-923-1955 FAX.098-923-1965

開所日:土日祝祭日を除く平日 時間:10:30~17:30 ご利用:送迎無料・昼食付



「障がいのある人もない人も一緒に働く」

(株)NSPは、飲食店(焼肉パラダイス キングコング・食彩館・万采)にて就労支援を行っています。作業内容としては、仕込みや洗い場作業(就労継続支援A型)・店舗清掃(就労継続支援B型)があります。また、就労継続支援B型の新たな取り組みとして全国的にも珍しい「漁業」があります。網の陸への引き上げやうろこ取りの作業があります。

就労継続支援A型の特徴としては、「共に働き、共に生きる」をテーマに、利用者と福祉スタッフだけでなく店舗スタッフも共に働きながら就労訓練を行うという事です。就労のための技術指導は店舗スタッフが行い、精神的なケアは医療従事経験のある専門職(作業療法士)と一緒にいきます。

就労継続支援B型の特徴としては、働きたいけれど何をすれば良いか分からない・自信が持てない・今後の目標を立てたいという方を対象に、利用者一人一人のペースに合わせて、一緒に就労への道筋をつける支援を行っています。



あらかき通信

ふれあい看護体験

5月18日(土)、今年も「看護の日*・看護週間」を記念して「ふれあい看護体験」を実施しました。コザ高校に通う高校生10名が参加されました。学生さんたちは白衣に着替えて、病棟やデイケアにて療養者とのふれあいや血圧測定など、普段ではなかなか体験することのできない看護師の仕事を経験されました。体験された学生さんの多くは、将来看護師になることを希望しており、今回のふれあい看護体験を終えて『看護師になりたいという』気持ちがいっそう強まったようです。みなさんお疲れ様でした。*看護の日は5月12日(ナイチンゲールの誕生日)です。



「夢どう宝」上映会

5月11日(土)当院のコミュニティーホールで「夢どう宝」の上映会を開催しました。当日は、新聞やテレビを見た一般の方の問い合わせがあり、90名程の参加がありました。映画同好会のメンバーさんは前に出てトークに歌にと頑張っていました。

当日の参加者の中から「昔、保母さんやっていて、ホールで一度ピアノを弾きたいと思っていた」といった夢が語られ、急きよその場でその夢を実現してもらいました。

会場一体になり「夢」に思いを馳せる会となりました。



みつば交流会

今年度、当院の療養病棟(2病棟)の療養者を中心に読谷村支援センター「みつば」との交流会を開催しています。この活動は地域移行支援の取り組みのひとつで入院療養者が退院し、地域で生活するためのきっかけづくりを目標にした活動です。

4月の交流会では参加者みんなで話し合い、年間計画を立てました。一年の活動を通して地域の仲間との交流を深め、地域に居場所をつくっていきたいと考えています。



残波駅伝大会

4月28日(日)第10回残波駅伝大会が開催されました。当日は気温27度の夏日、熱い日差しの中、温かい声援を受けながら熱いレースが展開されました。当院からも6チームが参加しタスキをつなぎ全チームが完走しました。終了後はバーベキューでお互いの健闘をたたえ交流しました。

職員共済会主催 スプリングコンサート開催

平成25年3月22日(金)18:00より当院コミュニティーホールにおいてスプリングコンサートが開催されました。沖縄県内で活躍中のオールディーズバンド REVERSE(リバース)をゲストにお招きし、1960年代の曲を中心に演奏されました。

70名余の会場は歓喜にあふれ楽しいひと時を過ごしました。



栄養課
からの
レシピ紹介

ゴーヤーの 梅おかかソテー

【見た目は地味・・・しかし健康効果に
優れた昔ながらの健康食材。】

- ・梅干しが豆腐のカルシウム吸収をサポート。
- ・削り節のナイアシンなど身近な食材で豊富な栄養がとれる一品。

調理
時間
10分
1人
81 kcal



材 料 (1人分)

- ・ゴーヤー……………小1/2本
- ・塩……………少々
- ・島豆腐……………小1/4パック
- ・サラダ油……………大さじ1/2
- ・梅干し
小1個(種を取り除きほぐす)
- ・削りかつお……………1/2パック(小袋)

作 り 方

- ①ゴーヤーは薄切りにし軽く塩をふる。
- ②豆腐は水切りしておく。
- ③フライパンにサラダ油を熱し豆腐を割りほぐして入れ、周りに焼き色がついたら取り出す。
- ④サラダ油を足してゴーヤーを炒め取り出した豆腐を加える。
- ⑤梅干し・削りかつお入れ味を整え仕上げる。

ポイント

- ゴーヤー：夏の長い沖縄で真夏の暑気を払う重要な野菜。またビタミンCの宝庫。
- 島豆腐：タンパク質が多く、陸のCa源。
- 梅ぼし：クエン酸を含むアルカリ性の健康食材。
*疲れや老化防止。
*強い殺菌力で防腐剤。
*カルシウムの吸収を助ける。

(新垣病院 栄養課)

これからの主な病院行事予定

5月



May

- 3日(金) 憲法記念日
- 4日(土) みどりの日
- 5日(日) こどもの日
- 6日(月) 振替休日
- 31日(金) 世界禁煙デー

休診日

6月



June

- 15日(土) 家族のつどい
- 23日(日) 慰霊の日

7月



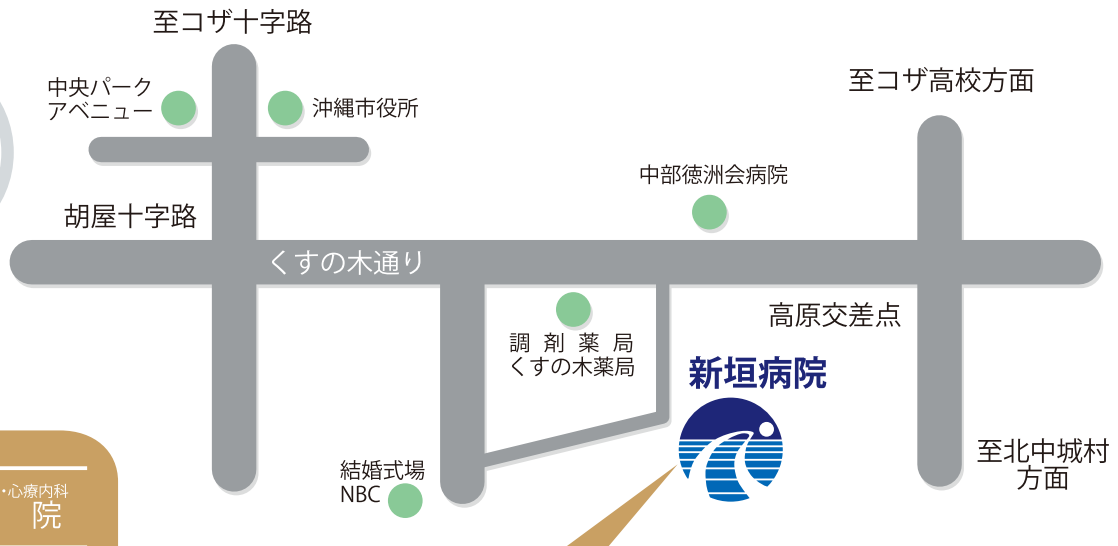
July

- 27日(土) 家族心理教育セミナー「回復編」

編 | 集 | 後 | 記 |

新年度、私たちの職場に15名の新しい職員が加わりました。また、恒例の人事異動があり様々な動きのなかで目まぐるしい1ヵ月を過ごしました。5月に新入職員のオリエンテーション研修が終わりようやく少し落ち着いてきたところです。新年度6月より広報委員も新しい体制で稼働します。広報委員会にも新しい仲間が加わります。これからも当院に関係する院内外の様々な記事を皆様に提供していきます。皆様のご協力を宜しくお願いします。(池原)。

当院への案内図



医療法人 卯の会 精神科・心療内科
新垣病院



〒904-0011 沖縄県沖縄市安慶田4丁目10番3号
TEL (098) 933-2756 FAX (098) 932-8123

医療

- 5 病棟:精神科救急病棟
- 4 病棟:精神科一般病棟
- 3 病棟:精神療養病棟
- 2 病棟:精神療養病棟
- 1 病棟:認知症治療病棟
- 外来・訪問看護

リハビリテーション

- 精神科作業療法
- 精神科デイケア
- 重度認知症患者デイケア
- 精神科デイナイトケア
- 通院患者リハビリテーション事業 (社会適応訓練事業)
- 外来作業療法

地域支援

- 精神保健福祉相談 ・自立および生活支援 ・入院・受診相談
- 啓蒙啓発活動

関連施設

自立訓練事業所 ラポール
TEL (098) 932-8100

グループホームあらかき
TEL (098) 934-4888

就労支援事業所 あらた舎
TEL (098) 938-2100



平成25年2月7日付にて沖縄県中部福祉保健所より施設内完全禁煙施設 (病棟・外来部門)として認定されました

理念

私たちは博愛と奉仕の精神で診療に臨み常に安心して満足いただける最良の医療を目指します

- ### 基本方針
1. 利用者の人権と安全に配慮し、一人ひとりに最も適した医療を提供します。(人権・安全性・医療)
 2. 地域と密接に連携し、利用者の社会参加、社会復帰の促進をはかります。(地域連携)
 3. 快適な治療環境を追求し、「癒し」と「安らぎ」のための空間を提供します。(アメニティと医療の質)
 4. 医療人としての研鑽を積み、それぞれの専門性を高めチーム医療に努めます。(職員の質の向上)
 5. 職員の健康と安全に配慮するとともに、生活向上にも努めます。(職場環境)

- ### 患者様の権利
1. 良質な医療を安全かつ公平に受ける権利
 2. 人格を尊重され医療提供者との協力関係の下で医療を受ける権利
 3. 診療に関して十分な説明、情報を受ける権利
 4. 治療方法などを自分の意志で選択する権利
 5. 個人情報の秘密が守られ、私的な生活を乱されない権利

- ### 患者様の責務
- 患者様に守っていただきたいこと
1. 医療提供者に対して患者自身の健康に関わる情報を提供すること
 2. 医療上理解できないことについて質問すること
 3. 他の患者の治療や病院職員の医療提供に支障を来たさないように留意すること